

## 令和3年度シラバス（保健体育）

学番 30 新潟県立中条高等学校

科目名	保健	単位数	1 単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）			授業形態	必修
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

### 1 学習目標（科目のねらい）

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自ら健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。また、健康の意味や意義について理解を深め、現代社会が抱えている健康問題を把握すると同時にヘルスプロモーションの重要性と、健康の保持増進のための対策や予防のための基礎的な知識を習得し実践できる態度を育てる。

### 2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等） 32時間 55分授業

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間				
4	<b>【1学期】1単元『現代社会と健康』</b>	3	1 1	1 7 ストレスへの対処	4				
	1 私たちの健康のすがた			1 8 心の健康と自己実現					
	2 健康のとらえ方			<b>－2学期期末考査－</b>					
	3 健康と意志決定・行動選択			1 2		1 9 交通事故の現状と要因	3		
	4 健康に関する環境づくり					2 0 交通社会における運転者の資質と責任			
	5 生活習慣病とその予防					1		<b>【3学期】1単元『現代社会と健康』</b>	
	6 食事と健康							2 1 安全な交通社会づくり	3
	7 運動と健康							2 2 応急手当の意義とその基本	
	8 休養・睡眠と健康							2 3 心肺蘇生法	
	<b>－1学期期末考査－</b>							2 4 日常的な応急手当	
9 喫煙と健康	3	<b>－学年末考査－</b>							
1 0 飲酒と健康		4	3		1 1 薬物乱用と健康				
<b>【2学期】1単元『現代社会と健康』</b>					1 2 現代の感染症				
1 1 薬物乱用と健康				3	1 3 感染症の予防				
1 2 現代の感染症					1 4 性感染症・エイズとその予防				
1 3 感染症の予防					1 5 欲求と適応機制				
1 4 性感染症・エイズとその予防					1 6 心身の相関とストレス				
1 5 欲求と適応機制									
1 6 心身の相関とストレス									

### 3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
集団生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項について理解し、知識を身につけている。

\*評価は出席状況、授業への取り組み、ノート、課題提出、定期考査等を総合的に判断して決定する。  
\*考査は1・2学期末と学年末考査に実施する（担当者によって小テストを実施することがある）。

### 4 担当者から一言

定期考査だけではなく、積極的な学習の取り組みや課題（宿題等）の提出も重視する。

（担当：大坂、山田）

## 令和3年度シラバス（保健体育）

学番 30 新潟県立中条高等学校

科目名	保健	単位数	1 単位	学年(コース)	2 学年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）			授業形態	必修
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

### 1 学習目標（科目のねらい）

年齢とともに変化していく私たちの心と体について理解を深めるとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみや活用のしかたについて学ぶ。また健康に関連する環境・食品の問題や、労働と健康の関係などについても学ぶ。

### 2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等） 32時間 55分授業

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間
4	<b>【1学期】2単元『生涯を通じる健康』</b> 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的とりくみ — 1学期 期末考査 — 8 保健制度とその活用  <b>【2学期】</b> 9 医療制度とその活用 10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や対策 <b>第3単元『社会生活と健康』</b> 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策 — 2学期期末考査 —	3 3 3 3 3 3 3 4 3 4	1 2  1 2 3	4 環境衛生活動のしくみと働き 5 食品衛生活動のしくみと働き  <b>【3学期】</b> 6 食品と環境の保健と私たち 7 働くことと健康 8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活  — 学年末考査 —	3  4 2

### 3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
集団生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項について理解し、知識を身につけている。
＊評価は出席状況、授業への取り組み、ノート、課題提出、定期考査等を総合的に判断して決定する。 ＊考査は1・2学期末と学年末考査に実施する（担当者によって小テストを実施することがある）。		

### 4 担当者から一言

定期考査だけではなく、積極的な学習の取り組みや課題（宿題等）の提出も重視する。

（担当：中川、平田）